

※記事内の学年は取材時のもの

宮島合宿

2014年10月18日・19日

「こまち会」では、メンバー同士の結びつきを強めるため広経大の研修施設「成風館」のある宮島で合宿をしました。

◆見学プログラム

本山 優(経営学科 2年 / 愛媛県・松山商業高校)

宮島の探索や宮島水族館の見学を行う「宮島見学コース」に参加しました。宮島の歴史や生活様式、瀬戸内の小魚との触れ合いなど、県外出身の私には、宮島の歴史や生活様式、瀬戸内の小魚との触れ合いなど、どれも新鮮でしたが、いちばん思い出に残っているのは先輩や先生方との交流です。和カフェでの女子会、協力して作った鍋やBBQで、ワイワイ。普段接することのなかった同級生をはじめ、先生や先輩と気軽に会話して、親交を深めることができました。次は新入生と一緒に訪れたいです。

◆体験プログラム

河口 結梨恵(経営学科3年 / 広島県瀬戸内高校)

私達のチームはもみじ饅頭作りと伝統工芸である宮島彫り体験をしました。どちらも初めての体験でドキドキワクワクでいっぱいでした。もみじ饅頭作りでは、普段使うことのできない焼き器を使って2種類の味の饅頭を作りました。袋詰め作業まですることができ、楽しかったです。宮島彫り体験は、彫るのが難しかったですが、みんなそれぞれが味のある作品を作ることができました。ぜひ他の人にもおすすめしたい体験でした。



教えて! 石田先生!!

「こまち会」って何ですか???

今本: 女子学生会「こまち会」設立の趣旨を教えてください。

「こまち会」を設立した広島経済大学の副学長でもある女子学生支援センター・石田部長に「こまち会」会長 今本千晶がききました。

石田:「一番は、女子学生が少ないので、女子学生同士の出会いのチャンスを広げる場にしたいということです。学生から、女子学生同士の出会いの場が少ないとか学科を越えて友達ができない男子ばかりで萎縮してしまうという声がありました。だから、もっと出会いのチャンスを増やすためにも、女子学生が集まるきっかけを作りたいです。もう一つは、広経大に入ってきた女子学生が社会に出るときに広経大らしさを乗けて社会に役立てるようにして出たいという思いがありました。ちょうど社会も変わりました。女性活躍の機会も増えているから、今までよりプラスアルファになる何かを教えて出してあげないといけないという気持ちがあります。」

今本: 経大生が目指す女子学生像と、いうのがあったら教えてください。

石田:「決めている言葉があって、『今からの時代を経済学の視点からしっかりと見据えて、豊かな人間性を生かして周囲と協力しあい、高い志を持って凛と歩いて行ける輝く女性』を作りたいというのが、私たちが目指しているイメージです。いろんなタイプの女性がいるけど、向かい風がある日も凛としてまっすぐ立って、爽やかな感じの女性になってほしいです。また、男女問わずうちは「興動人」がテーマなので、いろんな人と協働して、自分を開示する勇気を持ってほしいです。そして、女子にはより一層広い視野を心がけてもらいたいという思いもあります。さまざまなことに関心や好奇心があって、社会の出来事にも広い視野があるほうがいいですね。男性に比べて若干保守的というか守りに入りがちなのもあるけど、そこをちょっと広げてもらえるというふうに思っています。」



女子学生支援センター部長 石田優子先生

今本: 今後の「こまち会」はどうしていきたいですか?

石田:「発展させてもっと輪を広げていきたいです。今はまだこんなまりとやっていますので、広報活動もして、より多くの学内の人を知ってほしいですね。学内に「こまち会」のアピールをもっとスタッフとしても参加をしてほしいし、イベントにももっと来てほしいです。そうすると、もっとできることの可能性も広がると思うから、まずは学内でしっかり広げ、根ざしていきたいです。そして、「こまち会」のイベントに参加したい、スタッフになりたいと思ってくれる学生をもっと増やしたいです。その活動の先に、やっぱり学外から認められるというのがあります。広経大の女の子はすごいね、広経大こまちだねっていう評価がされるようになったらいいなと思っています。」

平成26年度 こまち会主催イベント

- 4月 新入生歓迎会
- 5月 宮島合宿
- 6~9月 オープンキャンパス 女子カフェ
- 7月・11月 キャリアデザイン講演会&茶話会
- 11月 熊野筆コラボ(大学祭出店)

先輩こまちに教わる就活術

キャリアデザイン講演会 & 茶話会

2014年11月27日

女子学生向けのキャリアデザイン講演会を8月初旬と11月末の2回、それぞれ4年生内定決定者の先輩と卒業生を招いて開催しました。PART1では、内定が決定している4年生女子の先輩をパネリストに経済学科の大野桃香さん(大分県内の銀行内定)、スポーツ経営学科の神谷望美さん(九州の大手鉄道会社内定)、同じく岸本蘭子さん(自転車専門店内定)、司会にメディアビジネス学科の向田ゆき菜さん(メガネ・コンタクト専門店内定)で実施。これから就職活動に臨む3年生のモヤモヤ解消に役立てました。11月の講演会では、本学OGの津川典子さん(大手グループホテル勤務)、高下楠奈子さん(大手スポーツ用品卸売業勤務)、黒木智子さん(大手鉄鋼メーカー勤務)の3人を招き、講演会を実施。就職活動の経験談だけではなく、社会の第一線で働く女性の姿も垣間見ることができた貴重な会でした。先輩からは仕事で進みました。講演会終了後は、OGと司会の向田さんがそれぞれテーブルに分かれ学生5~6人と茶話会。講演会では聞けなかった就職活動の細かい質問も先輩のお話を聞いて前向きな面が知れてよかったです。今後は主体的に行き支援は少ないと聞いています。広経大ならではの安心してもらえるような支援を目指しています。こういったイベントを第一歩として、踏み出す手助けにしていきたいです。」と語ってくれました。



女子学生の最近の主な就職先

(株)広島東洋カープ、九州旅客鉄道(株)、(株)リーガロイヤルホテル広島、ソフトバンクグループ(株)、メガネの田中チェーン(株)、(株)フタバ図書、(株)三井住友銀行、(株)広島銀行、(株)伊予銀行、各地域の地方銀行 ほか

※記事内の学年は取材時のもの

「凛と歩いて行ける女性」をつくりたい

女子学生支援センター 石田部長にきく

こまち会が洗顔ブラシの 販売サイトをプロデュース!!

「こまち会」が、熊野筆ショッピングサイトを運営する「kuma kawai」とコラボ!! 世界的にも評価の高い熊野筆を使った洗顔ブラシの販売サイトを立ち上げました。

「こまち会」では、熊野筆メーカー・晃祐堂の協力で、経大祭で熊野筆を使った洗顔ブラシを来場者に体験してもらい、アンケートを実施。そうしたなかから得られた声を販売プロデュースに活かしました。洗顔ブラシは、動物の毛を高い密度でまとめているので、人工毛よりも肌触りが柔らかで、長期間使っても肌を傷めないという特徴があります。価格は、学生にとってはやや高めですが、長く使用できますので、社会人になってからも使い続けることができます。また、これに合わせて、熊野筆ショッピングサイトを運営する「kuma kawai」とコラボで、専用サイトを立ち上げ、販売を開始しました。今後は、取扱商品を広げていき、できるだけ多くの人に熊野筆の良さを知ってほしいと思います。

URL <http://news-com.biz/komachi/>



専用サイト
3月16日から
運用開始!

